

新型コロナウイルス感染症に対する動物実験継続計画（ACP: Animal Experiment Continuity Plan）

制限レベルは、大学の事業継続計画（BCP）に準拠して決定します。

R4.12.26 現在

制限レベル	動物実験		
	常三島地区	蔵本地区	その他の地区(石井地区)
1	十分な感染防止措置を講じた上で、通常どおり動物実験を行うことができます。	十分な感染防止措置を講じた上で、通常どおり動物実験を行うことができます。	十分な感染防止措置を講じた上で、通常どおり動物実験を行うことができます。
2	<p>感染拡大に最大限の配慮をした上で、動物実験は継続できます。実験責任者は実験状況の把握に努め、実験実施者に欠員等が生じた場合、実験動物の飼育・管理が停滞することがないよう留意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行飼育状況の適正化 ・繁殖ケージの見直し ・系統維持のための凍結保存の検討 	<p>感染拡大に最大限の配慮をした上で、動物実験は継続できます。実験責任者は実験状況の把握に努め、実験実施者に欠員等が生じた場合、実験動物の飼育・管理が停滞することがないよう留意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行飼育状況の適正化 ・繁殖ケージの見直し ・系統維持のための凍結保存の検討 	<p>感染拡大に最大限の配慮をした上で、動物実験は継続できます。実験責任者は実験状況の把握に努め、実験実施者に欠員等が生じた場合、実験動物の飼育・管理が停滞することがないよう留意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行飼育状況の適正化 ・繁殖ケージの見直し ・系統維持のための凍結保存の検討
3	<p>感染拡大に最大限の配慮をした上で、動物実験は継続できません。実験責任者は実験状況の把握に努め、実験実施者に欠員等が生じた場合、実験動物の飼育・管理が停滞することがないよう留意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験計画の見直し（新規実験の縮小または延期、継続実験の縮小等） 	<p>感染拡大に最大限の配慮をした上で、動物実験は継続できません。実験責任者は実験状況の把握に努め、実験実施者に欠員等が生じた場合、実験動物の飼育・管理が停滞することがないよう留意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験計画の見直し（新規実験の縮小または延期、継続実験の縮小等） 	<p>感染拡大に最大限の配慮をした上で、動物実験は継続できません。実験責任者は実験状況の把握に努め、実験実施者に欠員等が生じた場合、実験動物の飼育・管理が停滞することがないよう留意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験計画の見直し（新規実験の縮小または延期、継続実験の縮小等）

※ ACPのレベルの適用は、原則として全学単位ですが、学内における感染状況に応じてキャンパスごとにレベルを判断することがあります。

※ この計画は、今後の状況に応じて随時見直しを行うことがあります。